



釣れたかな？ ちびっこ太公望 釣りに挑戦

第3回定例会《概要》—— 2

委員会レポート —— 4

議案の議決結果 —— 6

一般質問 —— 7

臨時会の概要／お知らせ —— 12

秋晴れの10月10日、せせらぎ豊鹿里パークで、わんぱくフェスタが開催され、市内外から約3,000人が詰めかけました。

会場では、つり大会をはじめ、恒例となった丸太切りやわんぱくマラソン大会などが行われました。この日は、大人から子どもまで一緒に楽しめる一日となりました。

鹿野葬儀場整備 関係議案は継続審査に



定例会の概要

平成22年第3回定例会を、9月7日から24日までの18日間開催しました。

今定例会では、市長提出議案32件、議員提出議案1件、陳情3件を審議したほか、一般質問では30人の議員が登壇しました。

主な日程

9月7日/本会議・委員会

行政報告

○中国山東省淄博市との友好都市提携について

市長提出議案

○提案説明、質疑、委員会付託

9月9日～14日/本会議

一般質問(30人)

9月15日～17日/常任委員会

付託議案・陳情の審査、所管事務調査

9月24日/本会議・委員会

市長提出議案(平成21年度決算認定議案)

○提案説明、質疑、委員会付託

市長提出議案・陳情

○委員長報告、質疑、討論、表決

議員提出議案

○提案説明、質疑、討論、表決

一般会計補正予算 (第4号)を修正可決

市長提出議案など30件を
同意・承認・可決

市長提出議案は、定例会初日の9月7日に提案説明を受け、質疑を行った後、9月15日から17日までに各常任委員会で審査しました。

周南緑地にある野球場施設整備工事の契約議案は、スコアボード工事等を来年開催される社会人野球大会に間に合わせる必要があることから、7日に委員会を行い、9日の本会議で表決を行いました。討論では、「プロボーザル方式による技術提案の結果、スコアボードは、3色LEDからフルカラーの全画面表示になった。施設が豪華になる反面、使用料が引き上げられる事例もある。ここまで豪華

なものとは必要なく、身の丈に合ったものにとどめるべき」との反対意見がありました。一方、「スコアボードのフルカラー全画面表示は、野球以外の各種イベントでも使用が可能。野球場の多目的化も考えられ、市民の財産としての位置づけが強くなることを期待する」との賛成意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

修正案は賛成多数で可決
——予算は白紙で

一般会計補正予算(第4号)

中国山東省淄博市との友好都市提携

調印に向けて 市長が経過を報告

定例会初日の冒頭、淄博市との友好都市提携について、行政報告がありました。

市長は、「本市は、東山口の中核都市として、特に中国との関係が深まっている。特に淄博市における環境保持のお

手伝いをすることは、私たちの日常生活にも関係する。また、子どもたちの世代に向け、お互いに文化や生活様式の違いを認識し合うのは大切なこと。淄博市は、活力ある発展性のあるまちで、お互いに補完し合い、強いきずなを持てるまちであることを確信している」と報告しました。

定例会最終日、中国山東省淄博市との友好都市提携に関する要望決議が議員提出議案として上程されました。

提出議員から、「尖閣諸島付近の中国漁船衝突事件を受け、日中両国間の関係が憂慮される状況にある。淄博市との友好都市提携の調印を否定するものではないが、適宜、情勢を見守りながら対応されるよう要望する」との提案説明

中国山東省淄博市との友好都市提携に関する要望決議

〔決議文〕

周南市は、両市の親交と市民生活の向上に資するため、11月に中国山東省淄博市と友好都市提携を調印しようとしている。

しかし、尖閣諸島付近における中国漁船衝突事件を受け、相互の友好親善訪問が中止となるなど、日中両国間の関係が憂慮される状況にある。

このことから、淄博市との友好都市提携の調印については、適宜、情勢を見守りながら対応されるよう要望する。

の斎場費について、9月24日の本会議の討論では、その修正案に対し、「鹿野地区に葬儀場があれば、助かる、安心という物言わぬ多くの賛同者がいることも事実である」、「故人に報いたいという儀式を、地元で行うことに行政が手を差し伸べるのは当たり前のことである」との反対意見がありました。

一方、修正案に対し、「鹿野地区に葬儀場を要望する声があることは承知している。しかし、鹿野公民館に葬儀場を設置することに対し、地元との意見調整ができていないと判断せざるを得ない」、「現地視察のとき、地元住民から『考え直してほしい』との強い意見が出ていた。予算を白紙にしてから、地域の声を聞くべき」との賛成意見がありました。

採決の結果、賛成多数で修正可決し、修正部分を除くその他の部分は、全会一致で原案のとおり可決しました。

今定例会では、一般会計補正予算や企業会計の決算認定等を含む30議案を同意・可決認定しました。

また、6月定例会からの継続審査となっていた陳情1件を不採択、1件の陳情を採択しました。

■用語の説明

※継続審査

会議に付された事件が会期中に審議を終了できなかったため、特に本会議で議決した場合に限り、案件の付託を受けた委員会が閉会中も引き続き審査を行うことができるようにすること。

現在の日中両国間の関係を憂慮し、要望決議

がありました。

討論では、「地方議会が日中両国間の緊張を高めるような意思決定を行うべきではない」、「すでに補正予算を可決しており、友好都市提携をするかしないか、どちらにも受け取れる内容の要望決議は必要ない」との反対意見がありました。



提出議員から提案説明がありました

また、執行部に対し、情勢を見極めて対応してほしいことを要望するものである」との賛成意見がありました。

採決の結果、要望決議は賛成多数で可決しました。

委員会レポート

各常任委員会における議案の審査状況は、次のとおりです。

企画総務委員会と環境建設委員会が合同で鹿野公民館を調査



環境建設委員会

企画総務委員会

所得税法第56条廃止を求める

陳情は、賛成少数で不採択

所得税法第56条の廃止を求める意見書について

この陳情は、第2回定例会の企画総務委員会、継続審査となっていたものです。

審査は、陳情者を参考人として招致し、陳情に対する意見を伺いました。参考人に対する主な質疑として、「第56条

を廃止してどうしてほしいのか」との問いに対し、「同条により、妻の86万円、子どもの

50万円の年間所得制限を廃止し、専従者としての給料を認めてほしい」との答弁でした。

討論では、「現在の税法系は必要であり、これを廃止すべきではない」との反対意見がありました。一方、「青色・白

色申告に関係なく、働き分に対応する対価の支払いは当然認めるべき」との賛成意見がありました。

採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決定しました。

コアプラザかの条例の一部改正（鹿野葬儀場関係）

鹿野公民館の1階部分を葬儀場として整備するため、公民館を用途廃止し、コアプラザかの分館とする条例改正です。

主な質疑として、「現地調査の際、反対住民が集まっておられたが、地元への説明は十分か」との問いに対し、「鹿野に葬儀場が欲しいとの意見が多く、説明会も行った。地元要望も取り入れ、賛成だと思っていた」との答弁でした。

委員から、「地元との調整を十分に行う時間が必要だ」との意見がありました。

採決の結果、賛成多数で継続審査することに決定しました。

鹿野葬儀場の整備、地元とはしっかりと協議を

斎場条例の一部改正（鹿野葬儀場関係）

鹿野公民館の1階部分に葬儀場を整備するため、斎場条例に鹿野葬儀場を追加する条例改正です。

主な質疑として、「葬儀場の整備に当たり、住民とどんな話し合いをしたのか」との問

いにに対し、「鹿野斎場を建設した際、告別式場が欲しいという要望があった。今回、公民館に隣接する自治会長と住民に話をしたが、絶対反対との意見がなかったため、条例改正を提案した」との答弁でした。

質疑を終了し、委員から「地元との合意形成を図る時間が必要であり、継続審査を求め

る」との意見がありました。採決の結果、賛成多数で継続審査とすることに決定しました。

工事請負契約の締結（徳山中央浄化センター建設工事）

主な質疑として、「日本下水道事業団との基本協定を締結するとのことだが、本会議では、将来的に事業団を外すという話もあった。外すことによる心配はないか」との問いに対し、「新南陽浄化センター

では以前で行ったことがある。事業団を活用するメリット・デメリットを考えながら、できることは市で行っていく」との答弁でした。

また、「処理水の再利用計画はあるのか」との問いに対し、「東部浄化センターでは、海水と下水を混ぜて工業用水を作る実証実験を、中央浄化センターでは、工業用水と下水を混ぜる新しい実証実験を行っている」との答弁でした。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

斎場費について修正案が提出され、賛成多数で可決しました



予算決算委員会

主な質疑として、栗屋・住吉学校給食センター調理配送業務委託料について、「調理と配送業務を含めて委託しているが、現在の正職員や臨時職員の配置はどうなるのか」との問いに対し、「現在、職場体験

一般会計補正予算(第4号)

やパソコン研修を行い、任用替えに向けた準備をしている。受託業者には、臨時職員として、市内の人材を活用し継続雇用に努めること、調理免許または1000食程度の調理経験が1年以上ある者の採用をお願いすることで、職を確保する」との答弁でした。次に、補助金等返還金につい

修正案を可決、 斎場施設整備予算は予備費に

て、「女性特有のがん検診と新型インフルエンザ予防接種の補助金返還の理由は」との問いに対し、「特定の年齢の方のがん検診は無料で、いろいろなPRや夜間に個別電話案内を行ったが見込みの半分であった。また、新型インフルエンザ予防接種の助成は、低所得者の6割を見込んだが、接種に優先順位があり、多くの方は1月から接種となった。この時期は患者もほとんど出でおらず、接種される方の数の予想をかなり下回った」との答弁でした。

次に、斎場施設管理事業費について、「補正予算が可決された場合、予算の執行は」との問いに対し、「条例案が可決しない限り、予算の執行は停止する」との答弁でした。委員から、「予算は予備費に組み替え、白紙状態で地元としっかり話をすべき」との理由で修正案が提出されました。採決の結果、修正案は賛成多数で可決すべきものと決定、修正部分を除く原案は、全会一致で可決すべきものと決定しました。

平成22年度から供用開始される
(仮称)栗屋学校給食センター



教育福祉委員会

給食センター工期の延長で 供用開始は新年度から

工事請負契約の一部変更 〔学校給食センター建築主体工事〕

この議案は、現在建設中の(仮称)栗屋及び(仮称)新地の各学校給食センター建築主体工事の工期を45日間延長しようとするものです。

主な質疑として、「なぜ、両センターとも45日間の延長なのか」との問いに対し、「厨房機器の発注と主体工事との調整が必要で、これは両センターとも同じ状況である。主体工事の工法は異なるが、洗浄機や釜などを設置する位置により、給排水の配管位置も変わるので、同じ45日間の延長となった」との答弁でした。また、「工期の延長による供

用開始までの影響はないか」との問いに対し、「供用開始は、当初、来年1月としていたが、工期の延長に伴い新年度からと考えている。なお、1月から4月までは、徳山東学校給食センターが稼動しており問題ない」との答弁でした。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

福祉医療費助成制度の現状 維持継続に関する陳情

陳情の審査に当たり、執行

部から、「この福祉医療費助成制度は県の制度である。平成21年度の受給者証更新時期から助成制度を一部変更し、受給者に医療費の一部負担を導入した。本市は、受給者の一部負担金を全額補てんするための予算措置を行い、受給者の医療費無料を継続している」との説明を受けました。

委員から、「県に対して、引き続き一部負担の撤回を要望すべき」との意見があり、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。

議案の議決結果

市長提出議案、議員提出議案等の
本会議における議決結果です。

市長提出議案：平成22年度補正予算

議決結果

◆一般会計補正予算（第3号）の専決処分を報告し、承認を求めること⇒500万円増額	承認（全会一致）
◆一般会計補正予算（第4号）⇒21億6,016万2千円増額 ※衛生費330万4千円を予備費に組み替える修正案	修正可決 （修正案賛成多数）
◆国民健康保険特別会計補正予算（第2号）⇒1億9,505万1千円増額	可決（全会一致）
◆老人保健特別会計補正予算（第2号）⇒7万6千円増額	可決（全会一致）
◆後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）⇒1,201万3千円増額	可決（全会一致）
◆介護保険特別会計補正予算（第1号）⇒1億3,423万5千円増額	可決（全会一致）
◆交通災害共済事業別会計補正予算（第1号）⇒1,388万2千円増額	可決（全会一致）
◆簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）⇒703万7千円増額	可決（全会一致）
◆下水道事業特別会計補正予算（第1号）⇒4,266万6千円増額	可決（全会一致）
◆農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）⇒561万5千円増額	可決（全会一致）
◆駐車場事業特別会計補正予算（第1号）⇒407万1千円増額	可決（全会一致）
◆平成21年度水道事業会計決算の認定	認定（賛成多数）
◆平成21年度病院事業会計決算の認定	認定（全会一致）
◆平成21年度介護老人保健施設事業会計決算の認定	認定（全会一致）
◆平成21年度徳山モーターボート競走事業会計決算の認定	認定（全会一致）
◆平成21年度一般会計及び特別歳入歳出決算の認定	継続審査

市長提出議案：条例改正など

議決結果

◆人権擁護委員候補者の推薦について ⇒逆井歌代氏、神田ヒロ子氏	同意（全会一致）
◆コアプラザカの条例の一部改正 ⇒鹿野公民館をコアプラザカの分館とし、葬儀場を設置するもの	継続審査
◆斎場条例の一部改正 ⇒コアプラザカの分館（1階）の一部を鹿野葬儀場に転用するもの	継続審査
◆火災予防条例の一部改正 ⇒総務省令の改正に伴う所要の改正	可決（全会一致）
◆字及び町の区域の変更 ⇒大字久米・学園台の一部を城ヶ丘4丁目に区域変更するもの	可決（全会一致）
◆山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更 ⇒光市が交通災害共済事務に加入するもの	可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について ⇒徳山中央浄化センター建設工事	可決（全会一致）
◆公有水面埋立の承認・公有水面埋立地の用途変更 ⇒N7号埋立事業の一部が国の直轄事業となるためのもの	可決（全会一致）
◆訴えの提起をすることについて ⇒市営住宅滞納家賃の支払いを求め訴えの提起をするもの	可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について ⇒周南緑地（野球場）施設整備建設工事	可決（賛成多数）
◆動産の買入れについて（2件）⇒消防用車両の購入（化学消防ポンプ自動車、高規格救急自動車）	可決（全会一致）
◆工事請負契約の一部変更（2件）⇒（仮称）栗屋・（仮称）新地の学校給食センター建築主体工事	可決（全会一致）
◆手数料条例の一部改正 ⇒危険物の製造所等の設置許可申請手数料の減額	可決（全会一致）

議員提出議案

議決結果

◆中国山東省淄博市との友好都市提携に関する要望決議	可決（賛成多数）
---------------------------	----------

陳情

議決結果

◆所得税法第56条の廃止を求める意見書について ※第2回定例会で継続審査となっていたもの	不採択（賛成少数）
◆「小さな親切」運動推進都市の宣言に関する陳情書	継続審査
◆福祉医療費助成制度の現状維持存続に関する陳情	採択（全会一致）

報告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分について

平成21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

議会報告：平成22年度（平成21年度対象）教育委員会点検・評価報告書の提出について

例月出納検査の結果について（2件）、定期監査結果について

一般質問 (要旨)

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長などの執行機関の考えや方針を問い質すものです。ここでは、質問の中から項目を一つに絞って掲載しています。

●再放送は、本会議の翌日午後 6 時から ●再々放送は、午後 3 時から(放映日はホームページでお知らせします)
※本会議の生放送と重なる場合は、本会議終了後に放送します。

来年は山口国体開催
市民に浸透しているか

刷新クラブ 得重謙二

問 来年は、いよいよ山口国体が開催される。本市ではハンドボール、レスリング、

クレール射撃、テニス、バスケットボール、そして軟式野球が行われるが、市民に浸透しているのか。大会には多くの市民ボランティアの協力が必要となる。今後、さらなる PR が必要ではないか。

答 ボランティアの登録者数も 500 名近くあり、今年度は本大会に向けてリ

ハーサル大会を開催している。今後もホームページや広報、出前講座を開催し、市民に広く PR していく。

ぬくもりのある婚活が必要ではないか

頭政会 坂本心次

問 本市の人口定住問題をただ単に人を増やすだけの方策ではなく、人づくりや家庭づくりも視野に入れ、

少子化や人口定住対策としての婚活が必要ではないか。本人の意思を尊重しつつ、婚活支援の場を作っていく。女性解放・参政運動を組織的に行った宮本重胤氏の PR も取り上げたい。いのち育む里での婚活は、地域コミュニティを強化し、地域で支える社会を再構築しなければならぬため、農業体験、都市と農村の交流も積極的に進めていく。

答 本人の意思を尊重しつつ、婚活支援の場を作っていく。女性解放・参政運動を組織的に行った宮本重胤氏の PR も取り上げたい。いのち育む里での婚活は、地域コミュニティを強化し、地域で支える社会を再構築しなければならぬため、農業体験、都市と農村の交流も積極的に進めていく。

■人物の説明

※宮本重胤(1881~1959)

一 所山田神社の元宮司。女性の知徳啓発のため、敬神婦人会を設立し、その教化の一環として、明治 39 年に機関誌「女子道」を発刊した。

福祉総合相談窓口の設置を

刷新クラブ 田中和末

問 現在の福祉事務所は非常に狭く、相談も通路や待合室スペースでの対応となっている。また、相談窓口も一本化されておらず、複数にまたがる案件は課単位での対応となっている。経験豊富、知識豊富な専任相談面接員を配置した福祉総合相談窓口を設置することで、相談者が一つの窓口で相談でき、また、スペースの確保にもつながると思うがどうか。

答 大変重要な問題である。現在、検討チームで協議しているが、何とか総合窓口体制、総合面接相談という方向性を出していきたい。

道路肩除草・河川除草やしゅんせつの定期的実施を

刷新クラブ 小林雄二

問 道路・河川の管理は日常生活上も重要であり、大変であるが故に見過ごされる

ことも多い。防災の観点から、道路肩除草や河川除草・しゅんせつの定期的実施及び予算化措置をもっとすべきである。

答 市道の草刈りは年 1 回業者委託しているが、十分でないのは認識している。地域によつては報償金制度だけでは無理もあり、迅速・柔軟に対応できる年間管理委託も検討していきたい。河川の除草・しゅんせつは被害を防ぐためにも重要であり、費用が多額となるが、優先順位をつけて実施する。しゅんせつの効果は認識している。

市営住宅の公民連携による供給事業は

刷新クラブ 西林幸博

問 市内に 4000 戸の市営住宅を管理運営しているが、多くの老朽化住宅が目立つ。周南団地で新築市営住宅建設が進んでいるが、「公費負担で住宅がこれ以上必要なのか」という声がある。一度建てると、耐用年数まで使い、古くなるばかりの住宅を維持管理するコスト負担が課題と

なる。住宅も新しいと感じるのは築 10 年くらい。全国的な動きで、民間事業者が建設した賃貸住宅を市が公営住宅として借り上げ、供給している。民間の活力を取り入れ、大胆に転換していく。

後期一般廃棄物(ごみ)処理計画を問う

新政会 土屋晴巳

問 ごみ排出量、再資源化量、最終処分量の平成 26 年度の目標値は、また、今後のごみ処理経費は増えるのか。

答 家庭系ごみの排出量は、現在一人 803 グラム

／日で、目標は一人 690 グラム／日を設定。今後、卵 2 個分の 110 グラムの減量を目指す。事業系ごみは、現在量よりさらに 9 トン減の 38 トン／日が目標。来春のリサイクルプラザ稼動により、再資源化率が一気に向上し、48%以上、最終処分量も現在量の 40% を設定。十分達成できる。ごみ処理経費は、市民 1 万 6769 円／人で、減少傾向にある。さらなる経費節減に努める。

いのち育む里づくりの
将来展望を問う

周南会 西田宏三

問 いのち育む里づくりの将来の展望はどうか。

また、許認可の多い農業行政の中では困難がきまとうのは目に見えている。今後、国や県に対し、どう事業を展開していくのか。

答 それぞれの地区で住民自身の総意による将来ビジョンとして、地域の夢プランづくりを進めている。「地域をどうするか」といった課題に対し、行政として、持続可能な地域社会を作りたいと考えており、住民だけでなく、NPOや地域団体、大学等とも連携しながら取り組んでいきたい。

国の認定活性化基本計画策定プロセスは

新政会 清水芳将

問 都市計画変更申請手続きや中心市街地活性化協議会設置等、国の認定活性化基本計画策定のためのプロセスは順調か。

縦覧を10月初旬に開始し、11月中には市・県の都市計画審議会に諮りたい。年内の承認を目指し、駅周辺整備を確実に進める。民間のまちづくり会社も商店街と商工会議所で起ち上がる。市の出資や特別用途地区の決定、規制と合わせ、来年5月以降の、正式な国の認定活性化基本計画申請を目指したい。市営住宅のあり方検討会や民間の事業にも期待している。

公文書管理法への対応は

民主の会 炭村信義

問 来年4月から公文書管理法が施行される。公務員が市民の負託を受けて、仕事することの証として公文書ができる。すべての文書電磁記録等も含むを保管し、将来の市民に過去を振り返り、検証できるようにすることが法律の目的。目標達成のための条例と専門部署をつくり、対応すべき重要な課題である

と考えるが見解を。

答 政策決定とか歴史的事実の議論を記録で残すことは大変結構なことである。文書はIT化し、現在ある図書館等の部署での管理・保管を検討する。

農道整備費・水路整備費に予算措置を

新政会 岸村敬士

問 農道は何メートルあり、整備予算はいくらか。また、地元から農道整備等関係の要望金額はいくらか。一方、市道の予算は2億5000万円あるが、それに比べ農道等の整備費が極端に少ない。大幅に増やすべきだ。

答 農道は1・8メートル幅以上が313キロメートル、全体で約5000キロメートルある。農道整備費に60万円、水路整備費等に100万円、改善要望金額は約50件で7000万円である。市道は、基盤整備として非常に大切なので、現地をよく見て、財政と相談しながら前向きに検討する。

武道館建設の方向性は

参輝会 青木義雄

問 先般の教育福祉委員会で、坂本教育長は武道館をキリンビバレッジ総合スポーツセンター付近に建設したいという発言をされた。具体的な建設場所を示した、非常に踏み込んだ発言であり、その実現性を確認する。

答 本市は昔から武道が盛んな地域であり、優れた指導者も数多くおられ、武道の振興を図る施設が必要であると認識している。建設場所は体育施設が集中しているキリンビバレッジ総合スポーツセンターを候補地と考え、できるだけ早く実現できるように努力する。

豪雨災害の備えを
対応の遅れは被害を招く

公明党 反田和夫

問 地球温暖化で、突発的・局地的に短時間で記録的な大雨となるゲリラ豪雨に

不安の声が高まっている。また、山地やがけ地では危険と隣り合わせにあり、地域の大きな課題となっている。災害続発への対応や被害が甚大化する前に防止対策の検討を。

答 土砂災害特別警戒区域では、住民への災害情報の伝達と警戒体制の整備、建築物に対しては、移転等の勧告も行うとともに、融資支援事業もある。災害発生時は、砂防工事や急傾斜地の崩壊対策を早急に行う必要があり、緊急性を考えて検討していく。



昨年7月の豪雨により崩落した斜面(上迫町)

■用語の説明
※ゲリラ豪雨

短時間に非常に激しく雨が降る状況。正式な気象用語ではないため、気象庁は使用しない。

高齢者の見守り体制は
どうか

参輝会 徳原尚一

問 高齢者の所在不明問題について、本市の現状はどうか。また、本市の見守り支援体制をどのように評価しているか。

答 本市の65歳以上の高齢者は、約3万9000人で、そのうち一人暮らしの方は約6000人いらっしゃいます。高齢者の6人に1人が一人暮らしである。高齢者の所在確認であるが、高齢者の保健福祉実態調査や関係機関の訪問活動から、本市の不明高齢者は、現在のところゼロである。配食サービスや緊急通報サービスなど、見守り体制も整備している。

周南市フィルムコミッション事務局の設置を

参輝会 長嶺敏昭

問 「川が好き 川にうつった 空も好き」という河川愛護の標語コンクールで日

本一になった言葉を残し、小児がんで亡くなった本市の少年の生き様や家族や地域とのふれあいをテーマに映画製作の話がある。映画などの映像の持つ力は地域経済にも絶大な可能性を秘めている。映画作りに投資的支援やフィルムコミッション事務局を設置し、政策的支援はできないか。

答 官民一緒になって映画作りの手伝いをするのがフィルムコミッションのやり方。千載一遇のチャンスであり、しっかりと支援する。

■用語の説明

※フィルムコミッション

映画等の撮影場所を誘致したり、撮影の支援をする地方公共団体等の公的機関のこと。地域活性化や観光振興を図ることが目的の一つ。

子どもたちの安心安全を守り、児童虐待の防止を

小坂玲子

問 貴近所には子供たちの名前を呼び、叱ってくれる大人がいた。思えば、みんな子どもたちの生活環境を守っていた。最近、親のエゴやストレスの犠牲で、幼い子ど

もが虐待を受け、心や体に大きな傷を負い、さらには命を落とすケースが全国で頻発している。虐待を見逃してはならない。子どもたちの健全な育成を見守り、虐待を防ぐ施策を問う。

答 本市は、365日24時間対応できる、周南市元氣こども総合相談センターがあり、早期発見、対応する。市民の協力・通報をお願いしたい。

高齢化に対し、
多面的対策を求める

周南会 久保忠雄

問 高齢者への対応として、
①高齢者に対する支援
ネットワークの構築、②耕作放棄地対策、③交通対策は、

答 ①諸問題は、高齢者の保健福祉実態調査などを実施している。地域福祉の中心期間として、いきいきさぽーと(包括支援センター)を4カ所に設置し、今後拡充していく。②高齢化による耕作放棄地は、いのち育む里づくりを拡充し、住民の知恵を拝借しながら、時間はかかるが

必ず解決する。③周南市交通活性化計画により、各地域に対して、合理的な交通手段を具体的に検討する。

将来を見据えた効果的な
施設建設計画を

参輝会 岩田淳司

問 財産もしくは負担として後世に残る今後の市の建設事業は、合併の目的や効果、今後の人口変化などを踏まえ、個別の建て替えではなく、全市的な視野で調整をし、建設または廃棄計画を推進してほしいが、いかがか。

合併処理浄化槽整備推進
事業の経過は

至誠会 中津井求

問 周南市汚水処理施設整備構想の見直しで、熊毛地域の公共下水認可区域も合併処理浄化槽に切り替えた。他市に先駆け、浄化槽本体設置工事費用の補助率を約40%から90%に独自で引き上げ、

答 合併特例債を有効に活用し、将来にわたりハコモノと呼ばれない効果のある建設事業を進める。建設計画では、公共施設検証シート等を活用し、各課で調整を計りながら無駄のない施設の建設を行っていく。遊休資産については、自主財源の確保も踏まえ積極的に処分していく。

■用語の説明

※合併特例債

合併市町村の建設計画に基づく建設事業等に必要経費に対し充てることができる地方債で、合併年度とその後10年に限られる。

合併特例債は対象事業費の95%に充てられ、その元利償還金の70%が普通交付税として交付される。

5年間で500基を対象とした。その結果、2カ月で年間予算枠の100基を超える申し込みがあり、該当地域住民の要望にこたえていない。今後、5年間の整備構想は、

答 今年度は100基分追加し、200基とした。来年度も予算編成時に検討する。浄化槽は小さな浄化センター。今後も汚水を流さない環境整備を早急に行う。

本当にできるんですか、
防災行政無線は

民主の会 高松勇雄

問

※8月中に日本無線との
インターフェースの同
期がとれるかの確認を行うこ
ととなっていたが、結果はど
うなったのか。また、接続の確
約・回答ができない場合、ペナ
ルティーを厳しくかけていく
ということであったが、現状
報告と今後の本市の対応は。

答

ぎりぎり待つて9月末
と考えている。市民の安
心・安全・命にかかわる災害は
いつ起こるか分からない。たと
え民間同士の契約でも、日本無
線に対しては、約束どおり履行
するようお願いする。接続不可
の結論が出た場合、契約解除と
なる。

■用語の説明

※インターフェース

コンピュータと周辺機器等を
接続し、電気信号の調整やデータ
の交換を行い、両者間のデータ交
換を仲介する装置。

国体を機に本市出身の
スポーツ選手の顕彰を

公明党 森重幸子

問

現在、新南陽総合支所
ロビーに展示している
元広島東洋カープ津田恒美
投手、元ジャパンエナジー原
田裕花選手、元卓球世界チャ
ンピオン伊藤繁雄選手の資料
を、山口国体を機に全市域で
顕彰してはどうか。

答

旧新南陽市時代に市民
栄誉賞を受賞された3
選手のほか、プロレスラーの



新南陽総合支所ロビーに展示されて
いるスポーツ選手等の資料

長州力さんやサッカー選手の
田中達也さんは本市の誇り。山
口国体は県内外から多くの方
をお迎えし、PRにはよい機
会。キリンビバレッジ総合ス
ポーツセンターへの展示を前
向きに検討したい。

学校統廃合による環境変
化に対するケア体制を

公明党 金井光男

問

学校再配置計画推進の
ため、指定校変更を認め
るとされている。同じ地域であ
りながら、別々の学校に通う
ことになった子どもたちやそ
の保護者の間で、ギャップが
生じているのではないかと危
惧されるが、対策は。

答

地域の中に、感情的なし
こりができていること
も一部にはあると聞してい
る。地域の一体感が損なわれ
ることは非常に残念なことだ
と思っている。地域や保護者
の方には、子どもたちが学校
生活を楽しく送る姿を通じて
ご理解をお願いしたいと思っ
ている。

市税・保険料等の滞納者
用相談窓口の一元化を

公明党 吉平龍司

問

現下の経済不況の影響
は、急激な収入減をもた
らしている。行政として、市税・

国民健康（介護保険料等の高
額滞納者に対し、法律専門家
からの返済アドバイスや生活
再建をサポートするため、滞
納窓口を一元化すべき。

答

使用料の滞納者も含め、
税・保険料等の相談体制
一元化（ワンストップ）を考え
ていきたい。

熊毛地区に都市計画税を
導入するの

顕政会 尾崎隆則

問

平成22・26年度までの
財政計画の中に、新たな
財源の確保ということで、熊毛
地区への都市計画税が組み込
まれている説明を受けた。市長
は、昨年3月の一般質問の答
弁で、「平成21年度中には導入
しないが、在任中には何とか
導入したい」と答弁している。
来年の市長選に再選された
ら、導入に踏み込む考えなの
か。

答

熊毛地区には合併して
から30億円近くを投資
しているが、他の地域と比べ
て完全なエリアだとは思って
いない。もう少し頑張らさせ

ていただきたい。

市政情報を
動画で配信してはどうか

周南会 井本義朗

問

いくつかの先進自治体
では、定例記者会見など
の情報をインターネット上の
動画共有サービスを利用して
配信、中継している。動画共有
サービスは、多くのユーザー
が視聴し、経費がかからず、投
稿者が主体的に情報を発信で
きるという利点がある。また、
市政情報が届きにくい若者へ
も効果がある。本市もこの新
しい情報伝達ツールを利用
し、定例記者会見やイベント、
観光情報など、さまざまな市
政情報を配信してはどうか。

答

今回の提案は積極的
に、しかもなるべく早く実
現できるように努力してい
きたい。

■用語の説明

※動画共有サービス

インターネット上に投稿された、
デジタルカメラや携帯電話等で撮影した
動画を、不特定多数の利用者で共
有し、視聴できるサービス。

徳山駅前（北口）の 周辺整備は安心安全か

至誠会 長谷川和美

問 徳山駅前周辺の長年の浸水問題を一日も早く解決するため、北口広場の整備と浸水対策の下水道整備を最優先すべきではないか。

答 安心・安全・命が最優先。従来のやり方を前倒しできないか、しっかりと即応したい。駅周辺整備事業は、特に北口広場とは別に考え、早く着手できる手段はないか、中心市街地整備部と連携して取り掛かりたい。できれば来年、あるいは、平成25年度といわず、できるだけ前倒しできないかという方向で検討したい。

国民健康保険の財政と 今後の対応は

顕政会 古谷幸男

問 今年度5%の料金値上げをした。被保険者は経済不況で、厳しい状況にある。収納率は20年度89・79%、21年度89・53%と減少傾向にある。

滞納繰越は21年度末で13億円余り。被保険者の負担格差も広がる傾向にある。22年度の収納率92%を確保できるのか。また、3年を目途とし、料金改定も行われる。今後の財政支援も含め、対応はどうなるのか。

答 平成22年度は基金を全額取り崩したが、医療費の伸びや収納率の減少もあり、5%値上げをした。今後、収納率向上を目指して取り組む。

市民館利用者の声を どう思うか

日本共産党 藤井直子

問 市民館は新庁舎計画では、取り壊して駐車場にする計画であり、事業仕分けで不要と判定された。利用者から「54年間市民館を中心に徳山の文化は息づいてきた」「自転車歩いて行ける」「高校生の利用も多い」「なくては困る」と存続を求める声がある。「市の中心部に小ホールや中ホールが欲しい」と建て替えを求める声もあるが、どう思うか。

答 新駅ビル・新庁舎の中に会議室を取り込むこ

となどを検討し、代替施設ができるまで市民館は使う。

事業仕分け、図書館や プールは無駄な施設か

日本共産党 中村富美子

問 事業仕分けで、福川図書館と新南陽プールは不要と判定された。福川図書館は福田民平が生涯学習の必要性を痛感し、寄附をして造らせたもので、百年以上の歴史がある。新南陽プールは3種類のプールがあり、成長段階に応じて利用でき、市民に親しまれている。事業仕分けは無駄をなくすことである。福川図書館や新南陽プールは無駄な施設か。合併時、推進者は「高サービス低負担」を言ってきた。存続させるべきだ。

答 住民の皆さんの気持ちはいくみ取らなくてはいい。議論していく。

■人物の説明

※福田民平（1877～1934）

明治41年、福川小学校の敷地内に2階建て洋館風の学校図書館を設立し、その建設費と蔵書3000冊余りを寄附した。貴族院議員、県議会議員として行政功績が多であった。



ふれあいセンター内にある福川図書館

新南陽富田南部雨水排水 整備計画の見直しを

至誠会 兼重 元

問 富田南東部の浸水被害対策として、既存の雨水排水整備計画の見直しを含め、応急対策を求める。

答 当面の取り組みとして、平成17年度から迂回水路を整備することで動くも、地元協議が整わず施工が中断している。引き続き、地元の協力が得られるよう工法の変更、仮設的な検討も含め努力する。将来計画として、当該地域の南北を通ず既存計画である富田南部6号雨水幹線を準幹線に、準幹線を幹線に振り替え、2本の排水路で相乗効

果を発揮できるよう計画の変更を検討する。

■用語の説明

※富田南部6号雨水幹線

富田南部地域の浸水解消が目的で、幹線ルートは、野村三丁目起点に南進し、日新製鋼の敷地に沿って西進する計画。流末は野村開排水ポンプ場から強制排除される。

住宅リフォーム助成制度 の実施を

日本共産党 形岡 瑛

問 住宅リフォーム助成は、関連業種への波及効果もあり、経済効果が大きい。改修費の10分の1、上限30万円が通例。市の投資、100件で3000万円、3億円の工事が出る。地元木材の活用も組み合わせ、関連業種への波及で、予算額の15倍程度の経済効果を生む。中山間地域では、こうした業者の存続が地域住民の生活にも欠かせない。

答 議員の言われるような効果がある、中山間地域における木材の関係とか、いい成果が出る可能性があるか、ということもあるので、預からせていただきたい。

議会運営委員会行政視察

～さらなる議会改革に向けて～

調査内容と視察先 平成22年10月12日～14日

- 議会改革・活性化への取り組みについて
(富山県小矢部市、神奈川県茅ヶ崎市、静岡県三島市)
本市議会のさらなる改革に向けて、上記のとおり行政視察を行いました。
行政情報の迅速な共有化を目的に、議員全員協議会や行政報告会を定例的に実施するなど、各市議会では独自の改革が行われていました。
執行部の考え方もありますが、行政情報の報告をどの程度まで定例化するか、議会としても検討すべきだと感じました。

臨時会の概要

10月29日に第4回臨時会を開催しました。
閉会中の9月29日から10月7日まで、予算決算委員会で審査した平成21年度の決算認定のほか、3議案が審議されました。
議案の審議結果は、下記のとおりです。

第4回臨時会の審議結果

◆平成21年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定	認定(賛成多数)
◆平成22年度一般会計補正予算(第5号)	可決(賛成多数)
◆平成22年度徳山モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
◆工事請負契約の締結について (周南第3住宅11棟耐震改修その他工事)	可決(全会一致)

市議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか

市議会では、市民生活に関係がある重要な問題を審議しています。
すべての会議は公開で行われます。傍聴席入口の受付簿に住所と氏名を記入していただければ、どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。

12月定例会の予定

12月 7日(火)	本会議
12月 9日(木)～14日(火)	本会議(一般質問)
12月15日(水)	3 常任委員会
12月16(木)～17日(金)	予算決算委員会
12月24日(金)	本会議

- ※ 本会議・委員会は午前9時30分から開催します。
- ※ 土・日曜日は休会です。
- ※ 日程の変更はホームページ等でお知らせします。

編集後記

気象庁は、今年の日本の夏の平均気温が、統計を開始した1898年以降の最高記録となったと発表しました。
一方、残暑が続く9月定例会では、これまでに最多の30人が一般質問を行うなど、議場では熱い議論が繰り広げられました。

市議会ホームページ

周南市議会 検索

- 本会議や委員会の会議録が閲覧できます。
- 議員名簿や議会の活動状況、会議の日程・テレビ放送の予定などを掲載しています。
- 議会交際費(平成22年度分～)を掲載しています。
- 「議長室(議長の動き)」を公開中です。

市議会携帯サイト

<http://www.city.shunan.lg.jp/hp/gikai/mobile>

右の2次元コードを読み取るか、アドレスを入力してください。



議員研修会を開催

新たな造水技術と周南市



10月1日、議員全員研修会を開催しました。周南地域の工業用水の渇水状況を踏まえ、本市が取り組む水資源開発の説明を受けました。

研修会には、市民や市職員なども多数参加し、このプロジェクトに対する関心の高さがうかがえました。
議員からは、「海水だけでなく、下水だけからも造水が可能なのか」、「[※]バラスト水を利用した水ビジネスの需要は」等の質疑がありました。

※バラスト水

荷物を積載していない船を安定させるために積み込まれる水

周南市はISO14001の認証を取得しました。

